

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 運営(窓口)業務	開館して受付業務を行う。	開館日数	日	299	305	300	305
② 博物館建物管理業務	業務委託による維持管理を行う。	委託件数	件	7	7	7	7
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 博物館観覧料徴収金額	入館者が納めた観覧料の合計金額	千円	599	599	599	599
			436	469	1,050	
2 博物館使用料徴収金額	館内レクチャーホールの使用者が納めた使用料の合計	千円	45	45	45	45
			0	0	0	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	公立の博物館として、玉名の歴史と文化を研究し、その成果を情報発信する役割を担っており、適切な施設管理をしなければ博物館の設置目的である歴史文化の振興に支障が生じる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	今後も博物館に少しでも多くの方に訪れていただくために、HPの充実やチラシ配布による集客に力をいれる。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	歴史文化の伝承や情報発信等のためにも現状のまま継続するが、施設の老朽化への対応が今後の課題である。特に、現在設置している油圧式エレベーターの製造終了による部品調達に困難を極めることが容易に予測できることから、エレベーターの取替えについての早急な検討が必要である。
昨年からの見直し・改善状況【32】	これまでに利用が少なかったレクチャーホールの積極的な活用を計画している。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	各地域(校区)に特化した展示を実施する事により、レクチャーホール等の活用を更に活発化し、資料の公開や調査研究成果等を来館者・見学者・学習者の更なる郷土愛の醸成に寄与することを目指す。	評価責任者 中山 富雄
------------------	---	----------------